



奈良県知事

荒井正吾

新型コロナウイルスとのお付き合いも多少長くなってきました。これからどの程度のお付き合いが続くのかも分かりません。これまで分かってきたこと

ですが、うつらない、うつさない対応を正確にすれば、そのような措置をとられたご家族や職場では、感染の発生が抑え込まれている事例が多く出ていることです。我々は、感染防止に智慧がついてきた面があります。

今、最も重要なことは、ワクチンが行き渡るまでの間は、従来の感染予防をきめ細かにすること、日常社会生活・経済活動の両立を図ることだと思います。社会・経済活動の新しい流儀はこれまでと違うかたちにはなると思いますが、臨機応変な対応が得意な日本人ですから、うまくやっていけるものと信じています。

新型コロナウイルスは、たいへんしぶとい敵ではありますが、対処予算を万全に準備し、きめ細かに着実に実行することで、押し返すことは充分可能だと信じています。賢明でしんぼう強い奈良の皆さまの力を頼りに、予算を準備し、その効果的な執行に最大限、智慧と工夫を凝らしていきたいと思っています。

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



ひかりちゃん てんいち先生

コロナ差別のない社会に

国内で初めて新型コロナウイルスの感染が確認された頃、日常生活で、マスクを着用する人は少なかったですが、「初」という言葉に、それまで漠然と抱いていた不安や恐れが人々の中で急に増したように感じます。

その頃、県外で習い事を始めた友人が、「こちらへはどうやって来たの?」と聞かれ、「奈良から電車に乗りました。」と答えると、「え、奈良…」と、一瞬相手が身を引いたことがあったそうです。友人はそれまでそんな対応をされた経験がなかったので、それ以降、奈良から来たと言わないようにしました。また、別の友人は、他府県ナンバー車への危害を恐れて、隣県に独居する高齢の親を訪ねることに今でも抵抗を感じるそうです。

初対面の人についてごく限られた情報しかない時、私たちは年齢、性別、職業、居住地、印象などでその人

がどんな人か判断する傾向があります。そこに恐れや不安が入り交じると、偏見や差別に発展することがあります。本人に悪意はなくても、偏見や差別の矛先を向けられる人にとっては生命にも関わる問題です。

一人一人が正しい情報や知識をもって冷静に行動することにより、そのような偏見や差別がなくなる日が来ることを心から願います。

今月のポスター



桜井市立桜井西中学校 1年
もりした かいり
森下 凱吏さん



葛城市立忍海小学校 6年
もちい みゆ
持井 美優さん

※学校名・学年・氏名は発表時のものです。

クイズ&プレゼント



正解者の中から抽選で

エアブラシの魔術師
芳岡ひできさんの
サイン入り絵本を
5名にプレゼント!



締め切りは11月30日(消印有効)

○にあてはまるカタカナを教えてください。

Q 今月の表紙のキャラクターは?

A ○○ちゃん・テンちゃん

ヒントは
10ページ

9月号の答えは“動物”でした。応募総数237件。

ハガキにクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。
④www.pref.nara.jp/30222.htmからも11/1以降応募できます。
※個人情報、プレゼントの発送以外には使用いたしません。